

らぶ! Sports@

スポーツを愛する市民の写真誌
 9/15号
 毎週水曜日発行
 らぶ! 市民報

熱戦が本格スタートした
 地区高校新人大会。各競
 技で県大会を目指す熱い
 戦いが繰り広げられる

地区高校新人大会 各競技に熱戦

テニス・弓道・ソフトテニス・ソフトボール

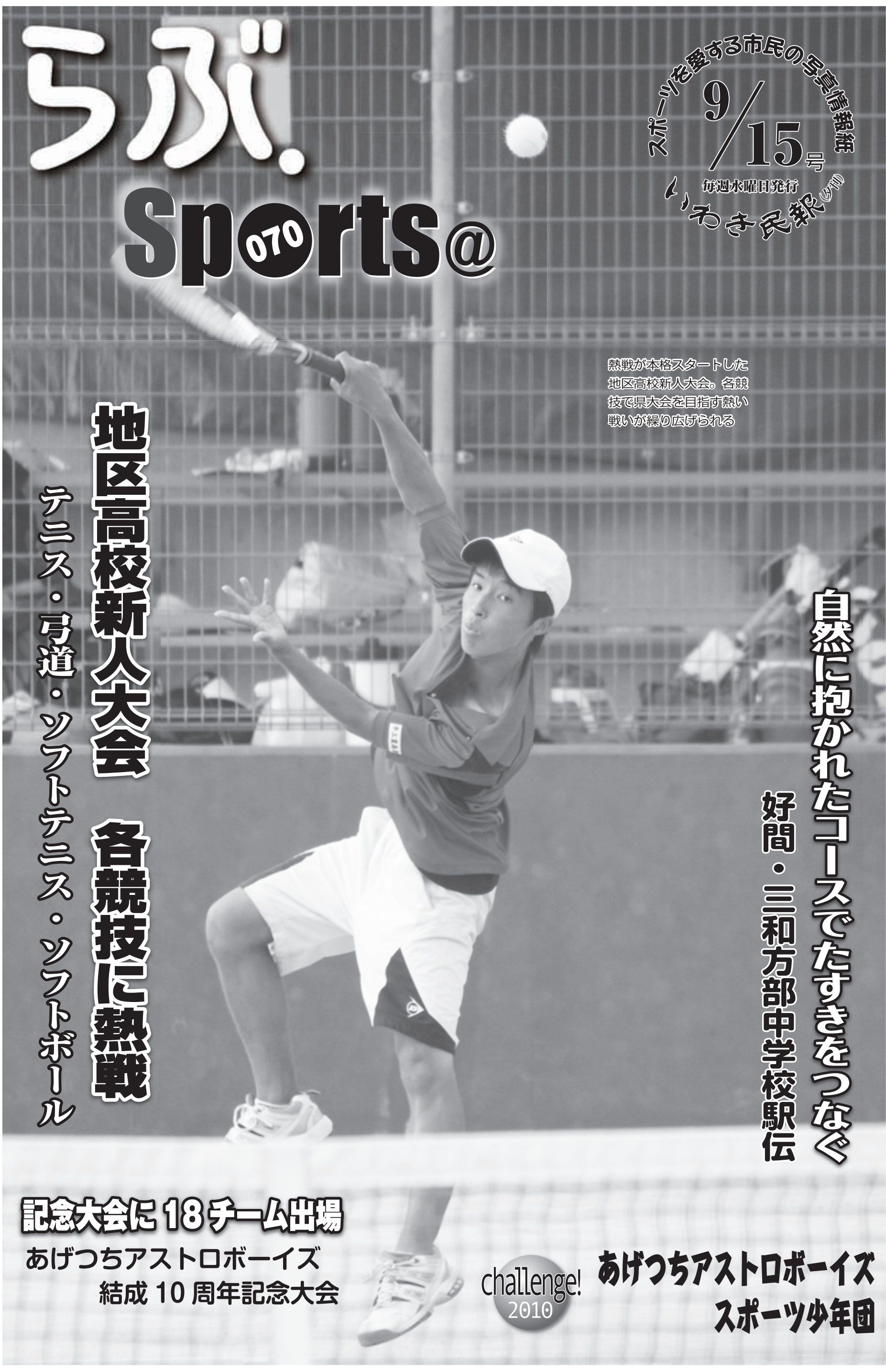
自然に抱かれたコースでたすきをつなぐ
 好間・三和方部中学校駅伝

記念大会に 18チーム出場

あげつちアストロボイズ
 結成 10周年記念大会

challenge!
 2010

あげつちアストロボイズ
 スポーツ少年団



challenge! 2010 あげつちアストロボーイズ スポーツ少年団



ソフトボリス少年団のあげつちアストロボーイズは4日、好開多目的広場で結成10周年記念大会を開いた。大会には市内17チームを招待。あげつちが初戦で敗れたが、互いに高め合ってきたライバルたちとの試合を楽しんだ。平成12年の結成以来「根気、やる気、元気の3つの気」を指導方針の軸に掲げる同団。今後も技術同様、団員の成長にも情熱を傾け、ソフトボールを通して青少年健全育成を目指す。

本年度の団員は次の通り。
 佐藤和輝 殿木雄大 岩本壮志 田村英之 野地 笙瑚 櫻村耕祐 小宮拓海 鈴木優太 齋藤史弥 鈴木仁 成瀬健将 櫻村珠生 岩並尚吾 片岡峻哉 宗像諒 小宮敬胤 齋藤カズ



あげつちアストロボーイズ 結成10周年記念大会
 市内18チームが参加し、4日に好開多目的広場で開催した。トーナメントで優勝を争った結果、決勝では中山ソフト少年団と中神台ソフト少年団が対戦。2-1で競り勝った中山が栄冠を手にした。



第42回好開・三和方面 中学校駅伝大会
 好開・三和方面中学校長会の主催、三和公民館・三和町協会の協賛で、いわき民報社の後援で6日、永井中周辺コースで開催した。6区間の男子5区間の女子、4区間の混合の3部門を実施。治道に駆けつけた地元住民の声援を受けて懸命の力走を繰り広げた結果、男子は三阪A、混合は永井Aが優勝した。



県高校新人体育大会いわき地区大会

★テニス(8/28・30・平テニスコート)★弓道(9/4・5・いわき弓道場)
 ★ソフトテニス(9/3・5・平テニスコート)★ソフトボール(9/11・12・湯本高)

ソフトテニス

弓道

テニス

ソフトボール

いわき民報社・SEAWAVE FMいわき コラボ企画

スポーツのチカラ⑤

いわきリトルシニア
監督

山崎正之さん



やまざき・まさゆき 平生まれ。平五小でソフトボールを始め、平三中時代は投手として市大会で優勝。磐城高、法政大、ヨークベニマルと第一線で活躍。郡山在住。



キッズエアロビックF・K

- 会員数 24人(男子1人・女子23人)
- 代表者 香川 悦子(エアロビック指導員・技能検定員)
- 活動 藤原公民館(金曜日)と上遠野公民館(火曜日)で毎月4回ずつ、午後4時15分から1時間、年中児から小学6年生までがレッスンを積んでいる。毎年11月に公民館で発表会を開いているほか、10月3日には常磐共同ガス主催のガス展でもダンスを披露する。エアロビック検定にも挑戦中だ。
- P R 柔軟性やリズム感などを養う全身運動なので、伸び盛りの時期の子供たちにとって体力面でいい効果がある。
- 連絡先 興味のある人は公民館に来て見学をするとよい。

いい汗、流そー!

らぶSports@サークル

故郷のいわきで野球の楽しさに触れ、華やかな東京6大学野球で活躍し、そして斜陽の中にあつた社会人野球で現役時代を終えた主砲がこの秋、「野球で故郷に恩返しをしたい」と誕生したばかりのリトルシニアチーム(硬式)の監督に就任した。山崎正之さん、49歳。「未来への挑戦!」をキャッチフレーズに「野球を通して心身を鍛え、子供たちが本来持っている無限の可能性を引き出したい」と抱負を語った。

東京6大学、社会人野球での経験を未来ある子供たちに伝えていきたい

昭和54年夏に開かれた第61回全国高校野球選手権大会で、大会史上に残る屈指の熱戦が繰り広げられた。箕島(和歌山)―星稜(石川)戦である。延長戦に入ってから2度星稜がリードしたが、万事休すと思われた。死無走者から、箕島は2度とも奇跡の同点本塁打で追いつく。そして最後は、延長18回裏に箕島がサヨナラ勝ちをおさめ、春夏連覇を果たすのだ。

この年、高校3年生の山崎さんは主将兼3番打者としてチームを牽引。2塁手だったが、3回戦の学法石川戦で負傷退場した捕手に代わって、以後はずっと急造捕手としてマスクをかぶることになる。しかし準決勝で福島商に2-7で完敗。優勝したのは安積商。監督はあの「小さな左腕」、磐城OBの田村隆寿さんだった。

進学したのは東京6大学野球の名門・法政。同期生には広島などで活躍した小早川毅彦、横浜大洋などでプレーした鎌子利夫らがいる。最上級生のときは3番打者、4番小早川に続き、山崎さんは1塁手で5番を打った。在籍した8シーズンで4度優勝。4年生秋のリーグ戦では5本塁打を放ち、春の5本と合わせた春秋10本塁打は当時の6大学新記録。しかし明治の4年生広沢克己も年間10本を放ち、同じポジションだったこともあって、山崎さんはベストナインに選ばれなかった。

大学卒業後はヨークベニマルに就任した。当時県内きっての社会人野球の強豪で、休部する平成11年まで選手、コーチとして活躍。昭和62年と平成6年には都市対抗野球でベスト8入りを果たした。第一線を退いてからは野球は趣味

でプレーする程度で、現在はヨークベニマル本社開発室マネージャー(店舗開発担当)として社業に専念していたが、ヨークベニマルに誘ってくれた当時の監督、小野寺克男さん「常磐上湯長谷町IIから誘われて、初めて少年野球の監督に就任することになった。」

新たに結成されたチームは「いわきリトルシニア」。小学6年生から中学3年生までの硬式野球チームである。歴史も伝統もなければ先輩もない。選手を募集しつつ、9月から週末練習を始めた。1人1人の性格、体力を見ながら本人に合った指導をする。そして

なぜこの練習が必要なのかを説明して、選手に納得してもらう。山崎さんは「Iからのスタートだけに、やりがいがある。自分が経験してきたことや、先輩から教わりたいことを子供たちに伝えていきたい」と意欲を見ている。



いわきのスポーツ人に迫る「スポーツのチカラ」はいわき民報社とSEAWAVE FMいわきのコラボ企画。「らぶ@スポーツ」の中で毎月第3水曜掲載です。同FMで毎週水曜午後7時からオンエア中の「いわき熱血スポーツ学園」に取材記者が出演し、紙面では紹介しきれなかった裏話などを通して、さらにスポーツ人の素顔に迫ります。今回のオンエアは9月22日の予定です。お楽しみに。

情報くりっぽ

(16~22日)

- 18日 第5回いわき市小学生20人21脚大会(いわきグリーンスタジアム)
- 19日 全日本卓球選手権福島県大会(市立総合体育館) 19日 いわき柔道会秋季審査会(市立総合体育館) 20日 マスターズ甲子園2011福島県予選会(平球場、いわきグリーンスタジアム) 19、20日 いわきフラインジボール卓球大会(内郷コミュニティセンター)
- 21日 第13回福島ビルフィッシュトーナメントinいわき(いわきサンマリナ沖) 19日。
- 19日 第2回いわきクラブ対抗テニス大会(平テニスコート) 第1回いわき市ミックスバレーボール大会(内郷コミュニティセンター) 第28回小名浜地区市民バドミントン大会(小名浜武道館) 第36回福島県小学校学年別柔道選手権大会(南部アリーナ)
- 24日 第47回田地区市民体育祭(田地区市民運動場)

【募集】第15回いわきふれあいウォーキング大会が10月31日、平小太郎町公園を発着点に開かれる。現在参加者を募集している。17日のA、11日のBコースで開催。午前9時から開会式を行う。参加料は大人1000円、子供(小学生)500円。参加費として完歩賞や記念バッチ、ハンドタオルなどを進呈するほか、昼食時に田舎カレーを提供する。事前申し込みが必要で締め切りは10月15日。

問い合わせは、市健康歩く会(電話)32) 3726まで。

水曜日の顔

